

# 白山市学童野球フレッシュジュニア大会 大会要綱

## 大会運営細則 白山市学童野球連盟

- 1) 白山市学童野球フレッシュジュニアの大会は4年生以下で行われる大会である。
- 2) 本大会は、特別に5・6年生の女子の大会選手登録を認める。  
但し、投手、捕手はできない。
- 3) 試合回数は5回とし、1時間10分を過ぎて新しいイニングには入らず、5回に達しない場合でも、均等回終了をもって試合は成立するものとする。
- 4) 塁間及び本投間は次の通りとする。 塁間 21m 本投間 14m。
- 5) 低学年はバークを取らず注意とする。バークによって攻撃側が不利な判定（アウト）を受けた場合には不利な判定を取り除く。走者はそのまま塁に留め置く。又、バークと盗塁が同時に起こった場合は盗塁を優先し次塁へ進ませる。守備側監督に説明、注意し試合を続行する。
- 6) 本大会においては、振り逃げは無しで行う。
- 7) 投手の投球回数は1日60球、5回とする。
- 8) 大会本部が決めた試合のみ、2回、4回裏終了時クーリングタイムを設ける（白山市学童野球連盟大会要綱に準ずる）

## 予選リーグについて

- 1) グループリーグ予選は、各グループリーグの責任チームと協議し、指定の期間中にリーグ予選を行う。
- 2) 各グループリーグ予選の1位のチームが、決勝トーナメントに進む。なお、出場チーム数により3つのグループ割となる場合は、各グループの2位チームの中で最も勝ち点を獲得した1チームが決勝トーナメントに進出する。
- 3) 審判については、各チームより審判を用意し、各会場にて両チームの話し合いにより決める。
- 4) グループリーグ予選の試合会場は、原則、各グループリーグの責任チーム地で行う。
- 5) グループリーグ予選において、勝ちチームには勝ち点「3」を与える。また、5回終了時または時間内の均等回終了時、両チームが同点の場合は、両チームに勝ち点「1」を与える。2021年度まで適用していた最終出場選手に各9人による〇×式の抽選による勝敗決定は行わない。
- 6) グループ内での順位を決定する際、最も勝ち点を獲得したチームを1位とする。また、勝ち点が同じ場合には、失点合計の少ないチームを優位とし、失点合計も同じ場合は得点合計の多い方を優位として順位を決定する。なお、上記2)の各グループ2位のチームにおける優劣判断もこれに準ずる。
- 7) 1イニングで打者が一順した場合は、攻撃を終了し、次のイニングに移る（攻守を交代する）。

## 決勝トーナメントについて

- 1) 各グループリーグ予選から勝ち上がった4チームで決勝トーナメントを行う。
- 2) 決勝トーナメントにおいても、全試合、時間優先とする。
- 3) 決勝トーナメントにおいて、規定時間内の5回終了時、または均等回終了時に同点の場合は、特別ルールを1回行い、勝敗を決める。  
特別ルールで勝敗が決らない場合は、○印及び×印の抽選方式を行う。  
(特別ルールは白山市学童野球連盟大会要綱に記載されているとおりに行う)
- 4) 投手の投球回数は1日60球、5回までとする。ただし特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り、1日最大6イニングまで投げることができる。
- 5) コールドゲームは、3回終了時点で10点差又は4回終了時点で7点差とする。また、決勝戦においても得点によるコールドゲームを適用する。
- 6) 決勝トーナメントにおいては、打者一順による攻守交代制を採らず、3アウト制による攻守交代とする。

### ☆ 特別ルール（プレーオフ）

両チームとも無死1・2塁とし、打順は前回の継続打順とする。この場合において、走者は当該打順直前の2人を、2塁及び1塁に着かせるが、代走・代打を送ってもよい。  
投手・野手を交代させても何ら差し支えない。但し、一度出場した選手は出られない。

(石川県軟式野球連盟学童部規則による)

- ☆ 2025年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球に関する事項」並びに白山市学童野球連盟大会要綱に準じて行う。

改定 平成27年3月 第1版

改定 2019年3月 第2版

改定 2019年6月 第3版

改定 2020年3月 第4版

改定 2022年7月 第5版

改定 2024年3月 第6版